

県民健康調査「妊産婦に関する調査」実施状況について

I. 目的

妊産婦の皆様のからだやこころの健康度を把握し、不安の軽減や必要なケアを提供するとともに、現状や意見・要望等を的確に把握し、今後の福島県内の産科・周産期医療の充実へつなげていくことを目的に実施する。

II. 平成 25 年度調査実施状況

1. 対象者

- 平成 24 年 8 月 1 日から平成 25 年 7 月 31 日までに、福島県内の市町村から母子健康手帳を交付された方
- 上記期間内に福島県外で母子健康手帳を交付された方で、福島県で里帰り出産された方

2. 実施状況

(1) 回答状況

調査年度	発送数	回答数（回答率％）
平成 25 年度※	15,187	5,056（33.3）
平成 24 年度	14,516	7,181（49.5）
平成 23 年度	16,001	9,316（58.2）

※平成 26 年 3 月 31 日現在

なお、回答の返送は、新生児の 1 か月児健診の結果を記入した後にお願いしている。

(2) 支援状況

回答内容から支援が必要と思われる方に対し、健康状態や育児状況等の不安に関して助産師・保健師等による電話支援を行っている。また、メールによる支援体制を整え相談に応じている。

① 電話支援

調査年度	回答数	要支援者数（要支援率％）	支援内訳	
			うつ項目	自由記載
平成 25 年度※	5,056	820（16.2）	517（63.0）	303（37.0）
平成 24 年度	7,181	1,104（15.4）	751（68.0）	353（32.0）
平成 23 年度	9,316	1,401（15.0）	1,224（87.4）	177（12.6）

② メール支援

調査年度	相談件数
平成 25 年度※	1
平成 24 年度	6
平成 23 年度	13

※平成 26 年 3 月 31 日現在

③ その他

対象者全員に対し、心の健康の維持や放射線について分かりやすく解説した「お子さんと保護者のための心と身体健康サポートブック」（福島県児童家庭課発行）を送付した。

3. 調査の主な項目（次回妊娠について）

集計対象：

（H25 年度調査）平成 25 年 12 月 24 日～平成 26 年 1 月 15 日までに回答があった方のうち

データエントリ済（3,415 件）で対象外 6 名、無回答・拒否 4 名、重複 1 名を除いた 3,404 名

（H24 年度調査）平成 24 年 12 月 14 日～平成 25 年 11 月 30 日までの有効回答 7,139 件

次回の妊娠・出産をお考えですか？

回答	平成 25 年度	平成 24 年度
はい	1,844（54.2）	3,775（52.9）
いいえ	1,510（44.4）	3,239（45.4）
無・無効回答	50（1.5）	125（1.8）

「はい」の方（次回の妊娠を希望する方）が、あったらよいと思うサービス（重複回答あり）

回答	平成 25 年度	平成 24 年度
保育所・延長保育・病児保育などの充実	1,225 (69.4)	2,435 (66.2)
育児や小児医療に関するサービス	1,177 (66.7)	2,613 (71.0)
産休・育児休暇などの充実	988 (56.0)	1,893 (51.4)
放射線と健康リスクに関する情報	733 (41.5)	2,220 (60.3)
その他	171 (9.7)	247 (6.7)

※分母は有効回答数（平成 25 年度：1,765 名、平成 24 年度：3,681 名）

「いいえ」の方（次回の妊娠を希望しない方）の理由（重複回答あり）

回答	平成 25 年度	平成 24 年度
希望していない	736 (49.2)	1,690 (52.6)
今いる子どもに手がかかる	527 (35.2)	1,153 (35.9)
年齢や健康上の理由	486 (32.5)	1,012 (31.5)
収入が不安定なため	331 (22.1)	828 (25.8)
家事・育児協力者がいない	147 (9.8)	310 (9.7)
保育所などの預け先がない	95 (6.4)	222 (6.9)
放射線の影響が心配	92 (6.1)	475 (14.8)
家族と離れて生活しているため	25 (1.7)	78 (2.4)
避難生活をしているため	21 (1.4)	78 (2.4)
その他	228 (15.2)	81 (2.5)

※分母は有効回答数（平成 25 年度：1,496 名、平成 24 年度：3,212 名）

4. 調査の評価等について

- ・ 回答率については、平成 23 年度 58.2%、平成 24 年度 49.5%と 10%程度減少したが、平成 25 年度調査においても、調査票の発送後のこれまでの同時期と比べ、回答率は 10%程度減少している。そのため、5月に未回答者に対しリマインダーを発送する予定である。
- ・ 平成 25 年度の電話支援率は、平成 24 年度よりやや増加しているが、平成 25 年度は育児相談や母親の身体的精神的不調などの自由記載内容による支援をより細やかに行っているためである。
- ・ 平成 25 年度は平成 24 年度より、次回の妊娠や出産を望む方が増加傾向である。現在のところ、あったらよいと思うサービスは、平成 24 年度と比較し、「育児や小児医療に関するサービス」より「保育所・延長保育・病児保育などの充実」を望む声が多い。また、次回妊娠を希望しない理由は、「希望していない」が平成 24 年度同様、一番多い傾向である。

III. 平成 26 年度実施計画（案）

1. 平成 26 年度調査について

(1) 対象者

- 平成 25 年 8 月 1 日から平成 26 年 7 月 31 日までに、福島県内の市町村から母子健康手帳を交付された方
- 上記期間内に福島県外で母子健康手帳を交付された方で、福島県で里帰り出産された方

(2) 調査手法及び時期

質問紙による調査を行い、平成 26 年 11 月下旬の実施を予定

2. 関係機関と連携した妊産婦支援の向上

関係機関と連携をより密にし、各地域の意見を反映させつつ、回答率の向上および得られた回答に基づく妊産婦支援の向上に努める。

(1) 市町村へのアンケートの実施

調査や支援に対する意見を伺うために、県内市町村の母子保健担当者へのアンケートを行う。

(2) 調査結果報告会の開催

市町村との連携を図るため、保健師等市町村担当者を対象とした平成 24 年度調査結果報告会を以下のとおり開催する。

地区	日時	場所
県北	平成 26 年 5 月 23 日（金）	福島県青少年会館
県中・県南	平成 26 年 6 月 9 日（月）	福島県農業総合センター
会津・南会津	平成 26 年 6 月 24 日（火）	会津若松市生涯学習総合センター
相双	平成 26 年 6 月 2 日（月）	南相馬市原町区福祉会館
いわき	平成 26 年 6 月 13 日（金）	いわき市労働福祉会館

(3) リーフレットの作成・配布

調査の対象者への周知に協力いただくため、県内産科医療機関や市町村にリーフレットを配布する。